

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500182
法人名	有限会社うれし舎
事業所名	グループホームうれし舎
所在地	〒896-0078鹿児島県いちき串木野市生福6303-9 (電話) 0996 (32) 5061
自己評価作成日	平成28年12月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年2月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 周囲を田畑に囲まれ、四季の移ろいを日々感じれる
- ご利用者に常に寄り添ったコミュニケーション
- 制約や拘束が無く、明るく開放的で自由な雰囲気
- 常時ご利用者様本位でのサービスの提供

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○終末期ケアについて、事業所指針を明確化し、サービス内容についてはケアプランの見直しを行いながら、かかりつけ医や、訪問看護ステーションとの医療連携とスタッフ間の情報の共有化を密に図る事で、総合的なチーム医療による終末期医療が展開されている。緊急時の対応や看取りの実践により、事業所全体のサービスの質の向上につながっている。

○外出機会を頻回につくる事で利用者自身の心身のリフレッシュになり、生活の楽しみが増えるなど、余暇活動の充実が図られ、生きる喜びにつながっている。利用者自身が自分らしい施設生活が送れ、常に満足感のある日常生活が実感出来るように、スタッフ全員でサービス提供や行事開催に取り組んでいる。

○管理者や責任者は職員のスキルアップやキャリアアップによる人材育成、資格取得へ向けての支援協力や現場スタッフとの食事会を行う等、働きがいのある職場環境作りに向けて、様々な取り組みによって信頼関係を深め、事業所に一体感が生まれる事で、サービス提供に反映されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の理念についてはユニットの廊下に提示し、職員は日々実践に繋げる様心掛けている	利用者が毎日元気に生き生きとその人らしく住み慣れた地域で生活できるよう健康管理と生きる楽しみを提供することで生活意欲を高め自立支援を促進し自宅にいたときと同じ気持ちで日々の生活が送れるよう、利用者に対し、サービス提供している。事業所内に理念を掲げ、唱和やミーティング等にて理念の意義を振り返り、毎年度の事業目標に向けて取り組む事で、常にサービスの質の向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に交流しているとは言えないが、地域の保育園の慰問や公民館での舞踊の見学など参加されたり、敬老会の慰問など交流の場を作っている	自治会に加入し地域の敬老会や神社の清掃活動するとともに、ボランティアや中学校の職場体験の受け入れ、保育園児や踊り団体の慰問、訪問相談員の派遣対応、地域住民の訪問や野菜の差し入れ等、地域の社会の一員として日常的な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職場体験やボランティアなど受け入れている		
4	3	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を行い、地域包括支援センターの職員・公民館長・利用者ご家族が参加してくださり、事業所の状況を報告し把握して意見を頂きサービスの向上に活かしている	2ヶ月に1回、利用者の家族・地域包括支援センター・民生委員・公民館長などの参加にて開催している。事業所のサービス状況や行事活動、外部評価結果報告のほか、地域包括支援センターより防災や防犯に対する意見等も寄せられる等、総合的な施設サービスの協議が行われている。必要に応じて、業務改善を図る事で、サービスの質の向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要に応じて報告・連絡をしている	運営推進会議への参加、介護保険申請、認知症キャラバンメイトによるサポーター養成講座、地域づくりの一環として実施される「ころぼん体操」や「SOSネットワーク事業の徘徊模擬訓練」への参加推進、生活保護利用者の入所相談、サービス内容に関する指導等、市町村との連携を密に図る事で日頃より協力体制を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については全職員が理解し努めている 玄関の施錠はせず離ホーム等の心配がある利用者の方は見守りの徹底をし、一緒にドライブへ出かけたりしている	最低半年に1回、身体拘束委員会を設置し、身体拘束廃止マニュアルに沿ったサービス提供が実践出来るようカンファレンスや内部研修を開催し、ケアの統一と向上を目指している。また、身体拘束廃止に関する事業所指針にて常に意識づけを図り、高齢者の尊厳や人権、虐待防止を含めた、認知症ケアについて全職員が正しく理解している。玄関の施錠、言葉による拘束など、スタッフ間での注意喚起と事業所全体でのリスク管理にて安心・安全なケアの提供に努めている。行動障害のある利用者については、見守りやドライブなどの支援などの取り組みを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は無い すべての職員が理解している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学ぶ機会はない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前に見学に来られた時や入所される時など十分説明をしている 不安や疑問点を伺い、理解と納得に努めている	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関の靴箱に意見箱を設置している また、面会時に意見や要望を伺いコミュニケーションを図っている	意見箱や面会、行事、サービス担当者会議や運営推進会議、日常生活支援の際等、様々な場面で運営に関する利用者・家族からの意見や意向等を聞く機会を設けており、連絡帳や電話連絡、申し送り等にてスタッフ間の連携と情報の共有化を図り、職員会議やカンファレンスにて協議し、サービス提供の見直しや業務改善に努めている。外部者への報告はホーム便りを定期的に郵送し、現状報告等を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のカンファレンスの時や日々の申し送りや連絡帳など意見を出し合う機会を設けている	管理者や責任者は職員会議や日々の業務の中で意見や要望を聞く機会を設け、意見が上申しづらい場合は連絡帳や申し送りを利用していつでも発言出来る職場環境作りにも努め、出された意見等は業務改善に活かしている。勤務体制の見直しや個別相談、職員のキャリアアップや外部研修参加への促進によるスキルアップ、資格取得など、施設運営に関する様々な取り組みを行っている。ワーカー会と呼ばれる現場スタッフとの食事会にて信頼関係の構築を図る事で、事業所の一体感とシームレスなサービス提供が実践出来るよう関係作りの強化に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が働きやすい環境であると思う</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修には積極的に参加している 内容等は報告している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>余り行っていない</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所される前にご本人の状況や不安なこと・要望など伺い、安心して生活していただけるような関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様とご家族から、入所前の様子・要望など伺って関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族の要望をしっかり受け入れられるよう検討し対応している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らし・生活を共にすることで、家族のような関係作りを心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様にも手伝っていただき、一緒に本人様を支えているような関係作りを築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会や、可能であれば地元や自宅までドライブをし、昔を思い出していただけるよう支援している	アセスメントによる生活歴や家族構成、趣味・嗜好・生きがい・地域社会との関係性等の利用者の多角的な情報の把握によって、利用者のなじみの場所や人物との関係継続の支援に努めている。面会や病院受診、墓参りやドライブ等の支援や遠方の家族への活動写真つきのホーム便りの郵送などの支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや日々の暮らしの中で生まれる関わり等、利用者様同士触れ合える時間が持てる様支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今までの関係性は大切にしていると思うが、相談や支援する機会はあまりないと思う		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	まず本人様に希望を伺い、困難な時はご家族へ伺い、本人本位に検討している	日常生活支援の中から職員は利用者の訴えやサインに対し、個々の思いや意向の把握に努められるよう細心の注意と見守り・様子観察などにて対応している。意思疎通が困難な身体状況の利用者であっても、利用者自身が求めているサービスに向けて家族の意見も参考にしながら支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に生活歴や生活環境など本人様とご家族に伺っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の生活リズム・心身状態等現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様とご家族から要望を伺い作成している スタッフ間でも意見を出し合っている	利用者の状態像についてかかりつけ医をはじめ、現場スタッフ・各関係者にてカンファレンスや3ヶ月毎のモニタリング、サービス担当者会議等、サービス内容に関する検討・協議により必要に応じてその都度、ケアプランの変更や見直しを行っている。チームケアによる総合的なサービス提供に向けて連携と共有化を図り、利用者・家族の意向や希望をかなえる、現状に即したケアプランの作成を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や会話など細かく個別記録に記入している 職員間でアイデアを出し合いながら実践や見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様の身体的・精神的状況をご家族に相談し、柔軟なサービス提供に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での買い物や受診で安全で豊かな暮らしを送っていただけるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を利用している 変わったことや困ったことなどその都度相談させていただいている	利用者・家族の希望に応じたかかりつけ医の病院受診支援を施設が中心となって取り組んでいる。他科受診についても家族と出来る限り同行し、不安がないよう、診療情報の連携や受診後の報告、サービス内容の変更があれば、連絡帳や申し送りにて的確にスタッフ間の連携が図れるように努めている。平成28年の10月よりいちき串木野脳外科センターの訪問看護ステーション「さくら」との医療連携体制が構築され、週1回の訪問看護のサービスが導入される事で、より適切な医療が提供できる施設環境となっている。必要に応じて協力医療機関からの訪問診療も提供されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>10/1より訪問看護ステーションと連携し、相談したり適切な指示を受け対応している</p>	/		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時はサマリーを作成し情報提供している</p> <p>職員は入院中面会へ伺い、本人様の様子を把握している</p>	/		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>グループホームで出来る事は十分に説明している</p> <p>10月より訪問看護ステーションからの協力を受けながら支援している</p>	<p>重度化や終末期に向けた事業所指針を作成し、事業所で出来るサービス内容について利用者・家族へ十分な説明、同意を得て、意向や希望を踏まえた上でかかりつけ医をはじめとする各関係スタッフが一体となったチームケアに努めている。病状に合わせ、サービス内容の見直しを図り、かかりつけ医や訪問看護スタッフとの医療連携を密に図りながら、利用者の状態象に応じたサービス提供を行っている。AEDの講習や緊急時の対応についての勉強会等、各スタッフのスキルアップにも取り組んでいる。看取りについては、4例の実績があり、状況に応じた支援体制が構築されている。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は救命講習を受け、AEDの使い方を勉強している 緊急時のマニュアルも作成している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施している	夜間想定も含めた火災についての避難訓練を消防署立会いにて年2回、実施している。全職員が災害時の各持ち場の対応について正しい理解を深めており、防災対策についての意識も高く、利用者家族より2階からの災害・緊急時の搬送方法についての意見については、再度見直しを図る旨の解答が得られた。その他、消防設備や建物火災への点検・整備、備蓄・備品についても完備されている。AEDについても1階に設置され、人工呼吸や心マッサージ等の救命救急の講習会も随時実施されている。生福地区の地域住民との協力支援体制も構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	すべての職員が利用者様を尊重し、優しい声掛けに心掛け対応している	利用者の人間としての尊厳と基本的人権の尊重を重視した介護サービス提供に取り組んでいる。全スタッフがプライバシーや個人情報についての理解をしており、認知症ケアや接遇研修等にてサービスの質の向上に努めている。特に入浴や排泄サービス等の身体介護の際は自尊心や羞恥心に留意したケアに努める事で、利用者への精神的ストレスの軽減を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様のご自分の思いを決められる様な声掛けの仕方に心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活パターンが出来ているため、そのペースを大切にし、なるべく希望に添える様支援していくことを心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴時や外出時など、ご自分で選ばれる方もいる 困難な方は職員が選んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も利用者様と一緒に食事をし、出来る方は台拭き・お盆配り・茶碗拭きなど手伝っていただいている 旬の食材を取り入れて楽しんでいただけるようにしている	献立や食事メニューは特になく、利用者のその日のリクエストにより旬の食材や野菜等を取り入れた料理を提供している。また、アレルギーや食事形態にも留意し、食前には口腔体操も行う事で、安心・安全な食事への取り組みも行っている。食堂にて職員と一緒に食事を行い、準備や後片付け等、家族団らんのような光景が展開される事で、食事の時間が利用者にとって楽しい時間となるよう支援している。レストランでの外食や敬老の日の刺身のオードブルの提供等にて食に対する興味関心が沸く為の取り組みも行われている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日の摂取量をチェックし気を付けている 小食の方は少なめに提供している			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを徹底し、自力で出来る方は声掛けをしている 夜間は洗浄剤にて消毒している			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時誘導の声掛け・誘導を行っている	利用者の排泄リズムを生活支援の中から把握し、排泄の自立支援に向けては、日中はトイレ誘導を促す事で、オムツ使用の軽減に努めている。排泄コントロールが困難な利用者については、かかりつけ医の指示のもと訪問看護との医療連携を図りながら、内服や場合によっては医療的処置や栄養改善にて自然排泄へ向けての取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立にバナナやヨーグルトをデザートに付けたり、野菜を多く取り入れたり、一人ひとりの排便管理に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回で午前中に入浴していただいている 入りたくない仰る利用者は無理強いせず様子を見ながら対応している	週に3回、平日の午前中に入浴サービスを個浴にて提供し、水質チェックも行う事で、環境衛生にも努めている。利用者の身体状況に合わせ、体調不良時は全身清拭や部分浴を行うなどの支援に努めている。バイタルチェックや水分補給、体重測定や皮膚状態の観察など利用者の全身状態の確認を常に行う事で、安心・安全な入浴支援が実践出来ている。入浴拒否の利用者については、声かけのタイミングに配慮し、場合によっては入浴日を変更するなどして入浴への促しを行っている。入浴剤の使用や家族の協力による温泉への誘いにて入浴を楽しむことが出来る支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	かかりつけ医やご家族と相談しながら状況に応じて安心安全に休んでいただけるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬はスタッフが把握できるよう個別の記録と一緒に綴っている 変更があった時は連絡帳に記載している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	清掃や茶碗拭き、洗濯物干し・たたみ等の家事のお手伝いへの積極的な参加の声掛けや毎月数回の外食・外出・ドライブ等積極的に支援している		
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ゆとりがある時はドライブ・散歩に出かけてたりしている 自宅へ帰りたい・墓参りに出掛けたいなどのご要望についてはご家族に相談しご協力を頂いている	買い物、公園への散歩、遊覧船でのクルーズ、地域行事への見学、ファミリーレストランでの外食等、利用者個々の希望に沿って、家族や地域の方々の協力にて日常的な外出支援に努めている。外出支援により、利用者自身の心身のリフレッシュと余暇活動の充実を図る事で、常に笑顔があふれ、毎日楽しく自分らしい施設生活が送れるように取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は施設側で管理しており、必要なものは職員が購入してきたり、一緒に買い物へ出かけてたりしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望に応じて電話を掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じていただけるよう、フロアに壁画を貼ったり生花を活けたりしている 車椅子の方々が多い為、障害物の無い様環境整備に心掛けている	木造の2階建ての温もりのある建物で、リビングは天井を高く開放感があり、各階に備え付けのソファは利用者のくつろぎの場となっている。台所に接し、料理の風景が目に入る事で、利用者と職員の家族団欒のような情景が広がっている。1階にはウッドデッキがあり日光浴や外気浴を楽しんでいる。季節にちなんだ花や置物の飾りつけや、利用者の行事の写真が掲示され、季節感や生活感を常に感じられるよう工夫している。空調管理や施設環境についても配慮し、綺麗に環境整備されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごされるのがお好きな方には、食事も個室で召し上がっていただいたりとお好みの環境で生活していただけるよう工夫している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様のご自宅で使われていた寝具や家具・TVなど持参していただき使っていただいている	全室個室でベッド・クローゼット・エアコンが完備され、ベッドについてはモーター式のベッドと畳敷きのベッドの2種類がある。居室の窓は2重構造の合わせガラスで内側には障子が付属している事で、夏は涼しく、冬は暖かくなるよう配慮され、常に良好な室内環境となっている。利用者の馴染みの物を家族と一緒に配置する事で、在宅時と変わらない、くつろいだ環境の中での施設生活を送ってもらえるよう、居室の工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各々のADL等に合わせ、環境整備や快適な環境作りに努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を理解し実践している 日々ご自由に行動していただいている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	七夕・Xmas等での保育園との交流がある		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	神社清掃のボランティアなどを実践している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月毎の運営推進会議を行っている 包括支援センターや地域公民館長、ご家族代表の方をお招きし、意見を頂戴している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	隔月毎の運営推進会議での地域包括支援センター職員の来訪や市健康増進課職員とのコミュニケーション等積極的に交流を行っている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施錠しない等拘束無しのケアに取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は無し		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	あまり理解できていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>十分にご説明させていただき、ご納得していただいている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時にお聞きしたり、外部評価開催時でのご家族へのアンケート結果を職員に発表し、施設運営に反映させている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者が雑談やカンファレンス時に職員へヒアリングを行い、それを反映させている</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>シフト作成時における希望休ほぼ100%の取得や金銭面での処遇アップ、人員確保による無理のないシフト運営等整備に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内・外問わず積極的に研修を受講している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、勉強会等参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に寄り添いケアを心掛け、安心して過ごしていただけるようなケアを実践している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	色々な発言に耳を傾けるよう心掛けています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所されて3週間ほど様子を見させていただき、ご本人様・ご家族とのアセスメントを実施し、必要な支援を分析後計画を作成している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様が出来る事に対して積極的に参加していただけるよう常時声掛けし、参加していただいている ご自身が「ここで働いている」と思っているご利用者様もいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>まずはご家族と馴染みの関係になれるように積極的にコミュニケーションを取っている</p> <p>ご利用者様・そのご家族の意向を確認し、協力をいただきながら取り組んでいる</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人・ご友人等の面会</p> <p>外出等もしていただいている</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご利用者様が孤立することの無い様レクリエーションなどを行っている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>葬式への参列・お見舞い・年賀状のやり取り・民生委員様との交流等行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント・ケアプラン作成時・モニタリングと必ずご本人様・ご家族から意見を頂戴し、それを反映させている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入所前の見学の段階で、これまでの経緯等お伺いし、実際にご入所が決定次第正確にアセスメントを行い、全職員で把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りで日々の動向を、毎月のカンファレンスで月の動向を確認している		
26	10	○チームで作る介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成前に担当者会議を実施している 出席者は管理者・ワーカー・ご家族等で、現状報告とご意見を頂戴することにより、より多くのアイデア等反映させた計画作成に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人台帳・生活日誌・介護支援経過表等個別に記録し、其々を別ファイルにして全職員が必ず記録・閲覧し共有化に努め、反応を見て計画の見直しに繋げている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪看と医療連携を締結し、今まで出来なかった施設内での医療行為やターミナルケア可能な状況へと取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	よく通われていたスーパーや商店等に行ったり、以前勤務されていた会社名等把握し、近隣であればドライブがてら訪問したりしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前から馴染みにされていたかかりつけ医との関係を尊重し、受診を継続している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>10/1より訪看と医療連携を結び、週一の定期訪問時に問診等全てのご利用者様に受けてもらっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は頻繁に見舞いに行き、その際に病院関係者とその都度コミュニケーションをとっている</p> <p>病院側が施設運営の内情を知っておられ、なるべく早期退院に繋げていただいている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合の対応と看取りに関する指針を作成し、既利用者には文書と口頭で今後の利用者には重要事項説明書に内容を織り込み説明後署名捺印していただいている</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的な救急救命士講習の受講や訪看との医療連携によりオンコールでの急変時の対応ができるようになっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年2回の避難訓練の開催と施設消防計画		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	施設内研修でご利用者様への接遇について定期的に研修の実施を行っている		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	ご本人様の意思を尊重し、常に声を掛けるようにしている		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	自由な暮らしを優先している		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	朝は髪を梳かし、外出時は身だしなみを整えている		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	調理前の買出し時に召上りたいメニューをお伺いしたり、配膳・下膳・茶碗拭き等のお手伝いをしていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各ご利用者様の食事摂取量・水分摂取量の毎日の記録化による職員間での把握や夜間のゼリーによる水分補給等、各個人の状態に合わせて支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立しておられる方は声掛けにて歯磨きとうがいをいただいている 介助の方は職員が介助している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	カンファレンス等で個々の排泄パターンを共有化し、積極的に声掛けにてトイレ誘導しトイレでの排泄支援を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食前の体操等出来るだけ身体を動かしていただき、水分も摂っていただきながら予防に取り組んでいる それでも便通の無い方については薬を処方していただき対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	拒否があった場合は声掛け方法を変えながら再度アプローチし、それでも拒否の場合は後日にしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前についてはお茶を召し上がっていただいたりリラックスする時間を設け、各々で就寝されたい時に就寝していただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人台帳に服薬内容をファイリングして職員間で効用の共有化を図ったり、新たに処方された薬等については連絡ノートに記入し申し送りして報告している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い（洗濯物干し・たたみ・床清掃等）がお好きなご利用者様には積極的に声掛けし、嗜好品（コーヒー等）を好まれる方には15時にお出ししている。好天時には散歩等屋外に出て気分転換を図っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ドライブ・外食・外出については頻回に実施している ご家族にもアプローチし、ご家族と外出にもよく出掛けられている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭不所持による不安を解消するためにご家族からの要望があった場合に限り現金を所持していただいている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状のやり取りや、ご要望があった際の電話連絡等支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>環境整備を心掛け、施設内の目がいく部分に季節の花を活けたり絵画を飾ったりしている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ご利用者様同士で仲間意識があり、自由に語らっておられる</p> <p>お一人が好きの方は居室におられることが多くそこに干渉はせず</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時の家具等のレイアウトはご家族にさせていただき、ご本人様の好みに沿った形にいただいている</p> <p>また寝具等ご本人様が使い慣れたものを持参していただき、居心地よく過ごしていただくようにしている</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物は一部を除いてバリアフリーにしており、障害物の除去等環境整備を心掛けている</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない